

これからの「働き方」を考える  
**仕事と生活の**  
**バランス**  
 Work Life Balance

秋  
 2012  
 13

勤労者も家族も企業も、  
 誰もが幸せになれる社会を。



2 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰  
 第2回受賞企業のその後 Part 1

4 子育て応援「企業人」セミナーの開催と関係  
 構築活動としてのワーク・ライフ・バランス

5 和歌山・成羽を推進  
 三木市健康増進局/成羽町/和歌山県労働組合連合会/和歌山県労働組合/タクマ・エンジニアリング株式会社/神戸労働局  
 対策協議会/神戸商工会議所/6EOカーボン株式会社

8 キーパーソン養成講座  
 ワーク・ライフ・バランス実践講座は内部から

10 働く者の職業研究レポート  
 男女共同参画週間記念シンポジウム/株式会社クラ  
 ラオンライン

12 私たちの仕事場 ～「仕事と生活のバランス」実現まで～  
 カネテツデリカフーズ株式会社

14 2011(平成23)年度 経営報告  
 仕事と生活のバランスの実現について

16 風通しとワーク  
 女性就業促進策を推進しています

18 各種支援制度と相談窓口



ひょうご仕事と生活センター

ワーク・ライフ・バランスの実現に向け社員研修

タクマ・エンジニアリング株式会社

8月8日、タクマ・エンジニアリング株式会社(尼崎市)で社  
 員対象の研修が行われ、当センター外部相談員の瀧井智  
 美氏が「ワーク・ライフ・バランス(WLB)の実現に向けて」と  
 題して講演しました。

まず瀧井氏は、WLBが必要とされる背景には人口減少  
 社会の中、大量生産大量消費(=時間で勝負)時代から、  
 価値創造(=アイデア勝負)時代へ変わったことがあると事  
 例を交えて話し、WLBの導入により、社員のライフでの多様  
 な経験や成長、モチベーション向上が、仕事の質や生産性  
 向上につながるから、WLBは社員だけではなく、企業  
 にもメリットがある施策であり、将来は社会の発展につな  
 がるという好循環を生み出す取り組みであることも伝えました。

次にWLBの実現に  
 に向けて目指すこととし  
 て、業務の見直しによ  
 り仕事の無駄をなくす  
 こと、働き続けられる制  
 度を整えること、そして  
 何よりお互い助け合え  
 る環境をつくるために



社内のコミュニケーションが重要であることを、自身の体験  
 を踏まえながら訴えかけました。

途中、ペアになって実習するなどコミュニケーションを図る  
 機会もあり、終始、和やかな雰囲気で行進中、参加者の  
 方々は時折メモを取りながら真剣な面持ちで聞き入ってお  
 られました。講演が終了した時、参加者の方々から大きな拍  
 手が起こりました。

インターンシップ体験記

国松裕子さん  
 (甲南大学法学部)



就職活動を行う上でもたびたび重  
 要だと言われるコミュニケーションが、  
 WLBの実現でも特に重要であることを  
 学び、将来を見据えてしっかりと身に付  
 けていかねばならないと意識しました。また、WLBを意識した  
 企業は社内の風通しが良いだけでなく、ますます発展を遂げて  
 いく企業であることを感じました。この時期に、志望する企業選  
 びの大切な基準を知ることができ、本当に良かったと思います。